

2013 年 11 月 1 日
株式会社日立ソリューションズ

GIS 基盤環境を提供する空間情報クラウドサービスを開始 短期間、低コストで、地図や位置情報を活用した情報提供が可能に

株式会社日立ソリューションズは、インターネットから利用可能な GIS (地理情報システム) 基盤環境を提供する「空間情報クラウドサービス」を、11 月 5 日から開始します。この「空間情報クラウドサービス」は、GIS を利用したクラウドサービスを行う事業者や自治体、イントラネットシステムを利用して組織内で GIS を利用したい企業や自治体を対象としています。

「空間情報クラウドサービス」は、サーバーや OS などのクラウド基盤、地図コンテンツ (電子地図、航空写真、衛星画像など)、および GIS の API^{※1}を提供し、利用者の要望に応じてカスタマイズ可能な GIS を運用管理も含めワンストップで利用できるサービスを実現します。

これにより、利用者は、地図や位置情報を活用した各種サービスを、ユーザーに対して短期間で提供開始することができます。さらに、利用者は GIS サービスの初期導入コストの低減や、地図コンテンツ更新などの運用負担軽減、GIS 基盤上での効率的なソフトウェア開発を実現することができます。

※1: API: Application Programming Interface。あるプラットフォーム(OS やミドルウェア)向けのソフトウェアを開発する際に使用できる命令や関数の集合のこと。

近年、金融や農業、流通、医療など、さまざまな分野で、地図や位置情報を活用した業務システムへの利用が増えています。しかし、GIS を導入する費用や地図コンテンツの管理費用、他システムと連携させるための開発費用など、導入に係わる費用負担が問題となっています。

日立ソリューションズでは 1990 年から GIS 事業を手掛けてきており、その間、企業が蓄積してきた業務データを地図上に展開することで、業務データを可視化し、業務の効率化を図るエンタープライズ型地理情報システム「GeoMation」を開発し、さまざまな業種の企業に提供してきました。

「空間情報クラウドサービス」は、これまでの「GeoMation」導入における経験と実績を基にお客様ニーズを反映したものです。クラウドサービスで提供するため、GIS システムの初期導入や運用におけるコスト面、管理面での負担を軽減できるようになります。また GIS エンジン上のソフトウェア開発や他システム連携を支援するための多数の API を用意しており、開発負担の軽減にも寄与します。

主な特長は以下の通りです。

1. クラウド基盤や GIS エンジン、背景の地図コンテンツをサービス提供し、初期導入コストを低減

利用人数や契約期間に応じた課金方式のサービスで、クラウド基盤や GIS エンジン、背景の地図コンテンツを提供し、GIS システム構築の初期導入コストを軽減します。

2. 用途に応じた地図コンテンツを提供し、運用サービスの管理負担を軽減

株式会社ゼンリン、NTT 空間情報株式会社などの地図コンテンツを利用者の用途に応じて選択することができます※2。また、当サービスでは地図コンテンツを定期的に更新するため、利用者の管理負担が軽減されます。

※2: 地図コンテンツの種類を選定にあたり、利用する用途や範囲などについて事前に確認が必要です。お客様保有の地図コンテンツを、当サービスで利用する場合、事前に適用可否の確認が必要です。

3. GIS 上のソフトウェア開発や他システム連携を支援する API を提供し、開発負担を軽減

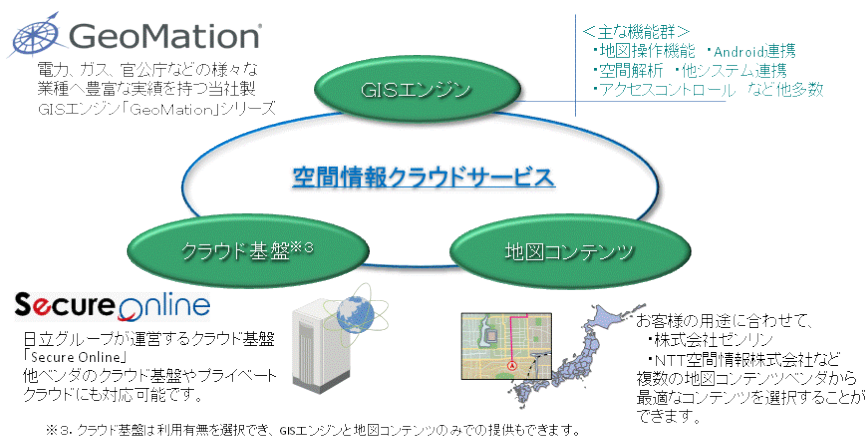
地図操作に関する基本機能のほか、地図上のデータを利用して演算や分析などを行う「空間解析」、スマートフォンやタブレット上でGISシステムを提供できる「Android 連携」、既存システムと柔軟な連携を容易にする「他システム連携」、地図上のデータに対する「アクセスコントロール」など、利用者が使用できるさまざまな機能を API で提供します。これにより、ソフトウェア開発やシステム連携の負担を軽減し、効率的な開発を支援します。

4. 利用者の要望に応じたクラウド基盤にも対応可能

クラウド基盤は、日立グループが提供する「SecureOnline」を標準としていますが、アマゾン ウェブ サービスなどのパブリッククラウドから利用者が保持するプライベートクラウドまで、要望に応じたクラウド環境にも対応できます。

日立ソリューションズは今後、「空間情報クラウドサービス」を、GISを活用して農業や流通業などのサービスを行う事業者をはじめ、一般企業や自治体向けに展開していきます。

■ サービス概要



空間情報クラウドサービスの特徴

<Point 1> サービス事業者等向けに、GISクラウドサービスに必要な基盤環境をワンストップ提供

<Point 2> 地図コンテンツはお客様用途に合わせ、複数の地図ベンダから選択でき、定期的に更新版を提供

<Point 3> GISエンジンが提供するAPIで、ソフトウェア開発や他システム連携も柔軟に実現

<Point 4> お客様の運用形態に合わせたクラウド基盤に対応可能

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号

本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号

Tel:03-5780-2111 ホームページ: <http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ

■ 価格(標準モデル、税込)

空間情報クラウド プラットフォームサービス

初期設定費用:420,000円、10ユーザー利用金額 2,520,000円/年

(上記はSecureOnline、GISエンジン、ゼンリン地方詳細地図 関東地域 を前提とした価格です。)

■ 販売開始時期:2013年11月5日

■ 製品紹介URL:http://www.hitachi-solutions.co.jp/geomation_cloudservice/

<商品・サービスに関するお問い合わせ先>

ホームページ:<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/> Tel:0120-571-488

<報道機関からのお問い合わせ先>

担当部署: ブランド・コミュニケーション本部 広報・宣伝部

担当者:安藤

Tel:03-5479-5013 Fax:03-5780-6455 E-mail:koho@hitachi-solutions.com

「空間情報クラウドサービス」は、株式会社日立製作所のクラウドソリューション「Hammonious Cloud」のラインアップのひとつです。

日立ソリューションズ グループは、お客様の業務ライフサイクルにわたり、オンプレミス・クラウド連携を始めとする豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する『ハイブリッドインテグレーション』を実現します。

※ GeoMation、SecureOnline は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

※ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号

本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号

Tel:03-5780-2111 ホームページ:<http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ